

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 2

號五三三第・日三廿月八輯編局報情

週報寫眞

札立の時

勝負は飛行機だ 蹴散らせ 追っ拂へ マリンナ上空の敵機群を



は利勝身 に返る

日本人 本然の姿に還れ!

この場になれば、俺らでやるよと、強
威張り力をしてゐる人がまだある。ここで
威張り力といふのは、その場にはやる
のは日本人本然の姿で、日本人同士の間では
別段威張つたり、自慢の極にはならないから
である。日本人なら誰でもその場になればやる
やれないやうな者はもつと、日本人では
ないのである

それをとらへれば日本人だ、日本人だ、
と人前や威張つたやうな口をきく方をするの
は、かへつて後めたさが感ぜられるやうな
べ、かういふ人に限つて、だからこの位の
ことは我慢してやらなくては、戦争努力
を怠る口實にしてゐるやうだ。これは以ての
外のことであり、この際、決して見捨てては
ならない考へ方である

念で考へてみても、俺は日本人だからと
いふ理由で、前線の戦場の後から巧をひくや
うな行爲が戦場で許されてゐない、苦がない。
もちろん、日本人なら、その場になれば
やうてくれることは疑ふ余地がない。しかし
それを口實にして、土切な工場を怠けて釣に
いつたり、供出を怠つて米を積んでしたり、
または名前だけ軍需会社に勤めて、國家が
要求する勤務を怠視したりするやうなことが
許されてい、苦がないのである

これまで忠誠なる日本人といふ精神を言葉
に名をかりて、一部日本人にもあるまじき行
爲が許されてはゐなかつたらうか。しかもそ

れが最近では随分になつてゐる。これはこの際、絶対に許しなされなければならぬ

小磯内閣総理大臣は、この八日、大川
春雄日に致送された護衛で大川に乗りこ
といふ言葉の中で
「大川のまに、軍も官も民も、一切
天皇陛下に捧げ奉りて大和一致し、各その本
分使命の上に絶対力を發揮する時」
大東亞戦争の勝利把握も期待し得るのであ
るといはれてゐる。即ち國民全部が、
天皇陛下に同じ心で、戦争の本の勝勢を
争へ、勝利を争へ、はかばかしてゐるのだ
。これは國難にあつて、日本人全部の
の本然の姿に還れといふことを意味する
。しかも、戦士には一貫して日本人かとい
いはれるが、日本人にとつて最大の偉業は
この戦場には皆やうに、またこの戦場
なれば俺らでやるよといふ東亞軍需に
も十分現はれてゐるやうに、日本人なら誰
も、その本然の姿に還り得る可能性と光榮を
持つてゐる
。もうその場になつてゐる。つまり、戦場
には脱皮し、そして日本人本然の姿に還
らうではないか

小さな努力が大切だ

近頃、よくいふのは、命がけでといふ言
葉を多くみかける。もちろん戦局は最重要で
あり、一命がけで國難にあたる心構へが必

あることはいふまでもない
。命がけでといふ言葉が上滑りしてゐ
る。命がけではないか。日本人なら誰でも戦場の動
向に深い關心を拂ひ、前線の將兵に願ふの
心はどうかすればよいが、十分に知り抜いて
ゐる。つまり、命がけでやらうといふやうな
心構へは誰でも持つてゐる筈である。しか
し、それが現実の血にはつかり現はれてゐる
かどうかとなる問題だ。かへつて反対にな
つてゐる場合が多いとさへ思はれる。別段命
がけにはならなくとも出来る努力さへ、さつ
ぱり擧げてゐない場合をちよといふ見受け
るのである。これが戦争遂行上、大きな障
にはなつてゐないか

例へば、速報開始五分乃至十分といふペースを
待つてゐると、二十分から三十分は来ない。
いらしくしながら待つてゐると、三時かた
まつて来るやうなやうな。しかも三時かた
は、三時で来るといふ始末だ。急ぎ
の用を持つてゐるときなを、地獄ん太ふか
たいくらいに思ふ。中には「この火にし
ひちまへ」と捨て向して歸る人もある。これ
では國民の戦意を挫くことが甚だしい

一方、運轉する側が平素より、川津な運轉を
する際には命がけな努力が必要ならうが、
恐らくそんなことはあるまい。實にちよつと
した努力ならうと思ふ。このちよつとした努
力、これを怠ると、全般に及ぼしてくる影響
は想像外に大きくなつてくるのである
。こんな例は身の廻りにいくらでもある。詳
でも、町會でも、配給所でも、タバコ屋の前



同じ心になれど、一つは
軍需を養ひ、一つは國難
の難を養ふ。一徳の情熱
を培養しなすこと

でも、ざらに擧げてゐる。これは少くとも勝
ち抜く戦術ではない
。命がけの心構へを胸の中に固く叩き込ん
で、戰場々々で積極的な努力を擧ふこと。こ
れが何よりも大切である

惜しいのは米英

常り前のやうだが、これが案外徹底してゐ
ない。といふのは、お砂糖がないのもお酒が
思ふやうに飲めないのも、一徳に「戦争のため
だ」と考へてゐる人が多い。朝夕の挨拶の中
にも「これもまあ、戦争のためだから」
「なぞといふ言葉はよく耳にする
。だが「これも、あれも、みんな惜しいアメリ
カ野郎の仕事だから」といふ挨拶はあまり
聞かない。これは惜しいことである
。アメリカでは日常の挨拶の中で「キム・
ア・ジャブア(日本人を殺せ!）」といふ言葉
を使つてゐるやうである
。これを思ふと、戦争のためだから我慢しよ
うなぞといふ考へ方は全く生かれない。戦争は
敵でも何でもない。戦争はなせ起きたか
。同じく小磯総理大臣の八日の放送の中では

この間の事情を
「天皇陛下は、國難の御運運を擔ひ、先づ
以て東亞永遠の平和確立を御願ひ遊ばさるゝ
ことになりましたが、利己以外に何物もなき
非道米英の阻むところとなつて、御運運の速
成容あならざる事難に眞面せるに止まらず、
」といはれてゐる。即ち、米英さへその非
道と野郎を反省すれば、戦争などはしたくとも
もないのである
。戦争のためではない。惜しい米英のためなの
である。生活が苦しくなつてくるのも、問題
が戦野に足をさらすのも、みんな米英のため
である
。最近それでも敵が本土にもちよといふ姿を
現はし始めたから、戦争の正義が分つてきた
ことと思ふが、頭の上に爆弾を落とされなけれ
ば敵が分らないやうでは困る
。「アメリカ野郎を叩き斬れ!」かう
いふ言葉が巷に氾濫してゐるやうでなければ
ならぬ
アリアナを直視せよ
大宮島、アエヤン島の戦況は、朝々われに

不利で、両方面の守備部隊並びに同種は、一
人でも多くの敵をたよさうと、最後の頑張り、
をしてゐる
。兵を糧んで大卒生の防波線とならう。それ
のみを念願とし、奮闘として奮闘してゆく將
兵。誰かに心からの合戦を送つて、われらま
たその後には頼かんことを御誓ひするのみであ
る
。戦況を知るのに地圖はもう使えないと言つ
た。敵は本土の至關先に来てゐる
。戦場は既に本土に擴大された。
敵の空襲を考へてみても、北九州
一帯は、こゝ、二ヶ月位の間に三度
爆弾の洗滌をうけてゐる。仰ぎ見
る本土の空は、文字通り決戦の空
であり隣組は本土防衛直接の堡壘
となつたのだ
。一億武器を執れ、總武装も強々
しく、鯉口を切つて敵を待つ秋は
来たのである
。やらう、やらうではないか



朝日に輝くアリアナは、少女の勇士の精神は、一度、勇者の手に
運ばれたましまし、少女に対する好意の記念品とされる。先に聖書
を刺したベーパーナイフを懐んで受けたルースヴェルトも、全世界
の誇りたる組織に、あつては運命を運ぶ者になつたといふ。こ
こに多量は無用。アエヤン島は、勇者の本性をさらけ出したのだ。われ
らは米本土に運つた聖物を愛護することを誓ふのみ

湖南の要衝 衡陽陥つ

包圍攻め四十日、我軍不降を請つた敵軍もわが精銳の猛攻に耐えかねて遂に陥落した



八月八日、湖南省の敵牙城衡陽は遂に陥落した。長沙を一氣に陥つた我が軍は、餘勢を駆つて南下し、六月二十六日衡陽飛行場を占領し、同二十八日には衡陽城を完全に包圍したのであるが、地形、天候に阻まれ、かつ在支米空軍の必死の猛攻により、我が兵隊は非常に犠牲を蒙った。しかも敵の頑固死守の決意もなかなか強烈であり、第六、第九師団より數十ヶ師の大軍を救援に赴かせたので、我が軍は巧妙なる作戦によつて先づこの野戦軍を随所に捕獲殲滅し、しかる後、衡陽総攻撃を開始するや、僅か四日して完全にこれを陥つたのである。

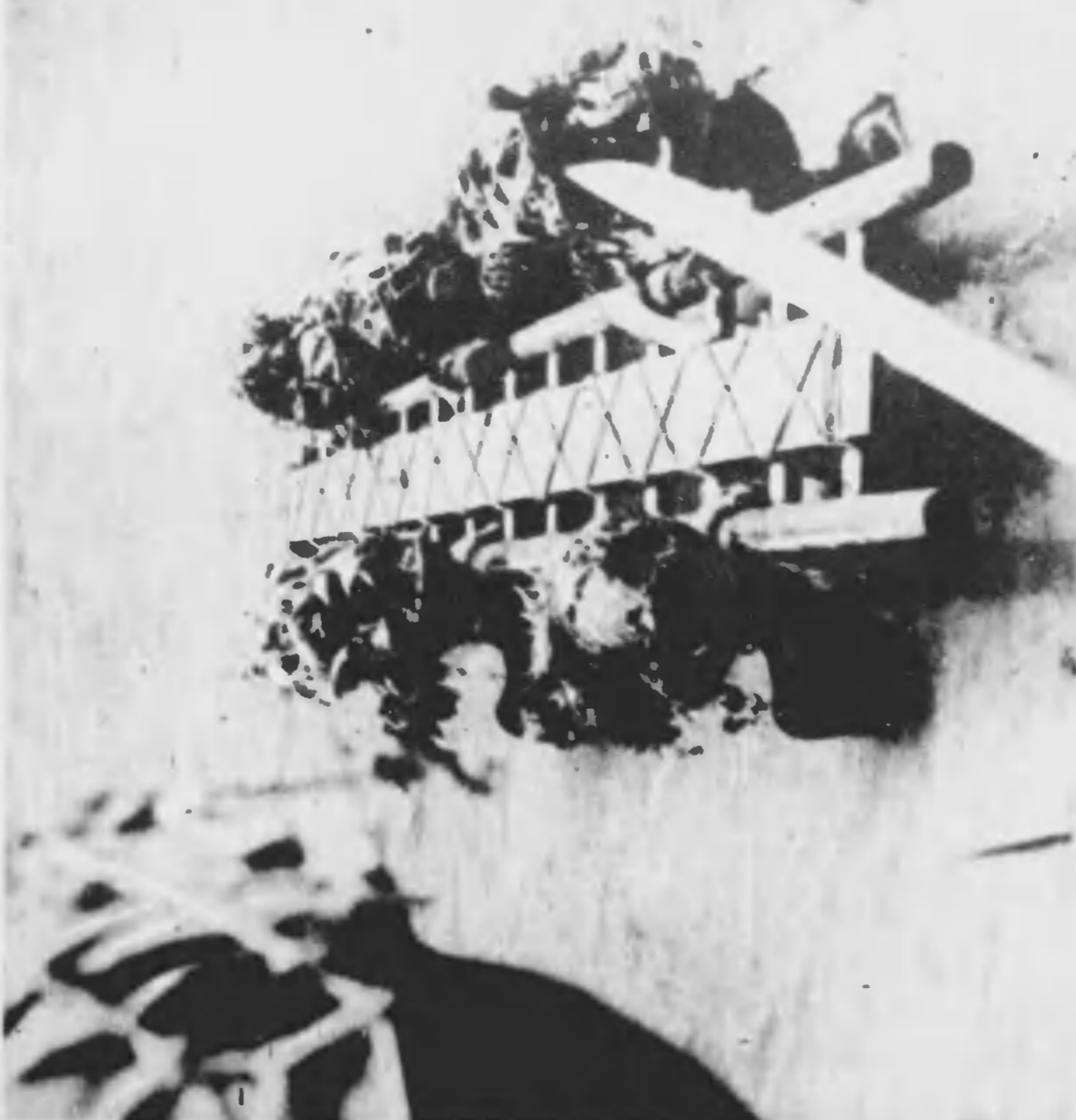
一方、我が空軍も在支米空軍の襲撃に全力を懸け、七月一日以来、相次いで敵基地を襲撃し、すでに六百機以上が敵機を撃墜して、大いに作戦に支障すると共に、敵の日本本土空軍の野望を粉砕した。衡陽攻勢の結果は重大であり、敵軍長 師長以下、未入降旗をも含む一万三千名を俘虜とし、遺棄死傷四千を算し、捕獲兵器多量を得た。

敵はこれによつて湖南の最大要衝を失ひ、我が南下作戦の大關門が開かれたのみでなく、在支米空軍の前進基地を失ひ、湖南各地たる遠く川以下の敵飛行場は、本據たる桂林との地上連絡を遮断せられてその機能を喪失し、我が本土への空襲企圖も著しく減殺せられたのである。敵がいかに衡陽の防衛を重視したかは、その犠牲しがた戦死ぶりからも窺へることであり、物的、人的に與へた敵の損害は甚大で、今やその苦悶は堪へべくもない。



□ 頑固な、いか。大陸の戦場もまた木霊の法政場となつたのだ

□ 水田には敵機が機銃をあげてつきまゝ。だが、わが空軍隊は少しも怯しなかつた。



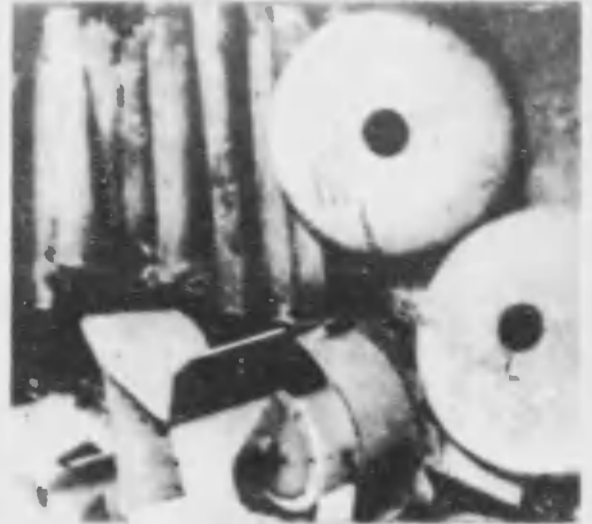
なほ湖南方面作戦の総合戦果は
 本報記者(昭和十九年八月十四日)一、湖南方面の我部隊は衡陽周りに包圍する敵を撃滅すると共に、敵の作戦準備中なり
 二、五月二十七日湖南方面の作戦開始以降八月八日衡陽攻勢迄の総合戦果中主要なるもの次の如し

敵に與へたる損害
 我方にて收容せる死傷 六万六千四百六十八
 俘虜 一万七千四百四十七名
 遺棄兵器 各種火砲 三百三十五門、重機銃機銃 一千五百五挺、小銃 一万三千六百六十六挺
 飛行機撃墜機上 八百六十九機
 我方の損害
 戦死 五千三百四十三名

週間點描

政府は八月八日、戦局に即應じて女子の勤労進歩を發表した。即ち職種と女子の勤労を視み合せて、各職種に對する女子従事率を決定、同時に男子の雇入れを制限したのである。兵員及び軍需物資の増産に對する女子の勤労の増進の一途をなるとし、正に奮然の措置である。われはドイツが去る十日、女子の勤労年齢を五十歳に引上げ、また物力を誇るアメリカの労働協約に、女子が至大な役割を演じつゝある事實を忘れてはならぬ。

八月十一日 敵機二十機内外が我機隊に分散して朝鮮南部、九州西部及び北部並びに山陰地方に飛来した。わが偵察部隊の奮戦で、殆んどなすところなく撃退したが、今後敵の空襲が一層激化するとは當然覚悟しなければならぬ。寒戦のたびに備へが固くなり—の意氣で當りではないか。



□ アメリカが物入りで準備してゐた「モロツ」のパン艦が八月十一日の北九州空襲に登場した。これは投下された途中で自然に爆発し、船の中から五キロの小艇ロケット弾が二十四発ばらまかれるといふが、爆発力が弱く、焚き人隊直前の少年は燃えることの油断で油筒を袖に抱んで、用水筒を振り込み、また六十二歳のお婆さんは六発も土中に埋めて、あつさり逃げ去つた。防空協会の報告の謂は、パン艦の威力どころか、普通化した。去つた。

帝國陸軍部隊は、七月中に陸軍または陸軍の敵機二千三百機といふ戦果をあげてゐる。わが方の損害は百三十九機。その損害比は約十対一である。さらに繰りさらに進めば、その比もまた更に開くのだ。録後の實況直し

飛行機増産へ

一致一億



何かといへば「物量増産」といふが、しかし敵も果敢と左
 團扇で甚大なあの飛行機をつくり出したわけではない。緒戦の惨敗
 に航空兵力の絶大な威力を骨身に徹して悟つたアメリカは、一九四
 二年(昭和十七年)夏に自動車工業を航空工業に轉換せしめた。さらに
 戦局が急迫するや、男は六十五歳まで、女も五十歳まで軍需工場に
 動員し、なかんづく航空工業は工員の十人のうち七人までが女であ
 り、その上、二直交替、三直交替で航空兵力の増強に躍起となつて
 る。敵の銃後の戦意は實に旺盛なものである

この敵より人口少く、物の劣勢を補はねばならないわが國は、ア
 メリカ人以上の努力をしなければならぬのに、現状は一億が果して
 十分に力を出しきつてゐるとはいへぬものがある。それを思ふと、
 飛行機の生産にかけがへのない重要物資を死蔵したり、積流したり
 するもの、職場を缺勤して賃金の高い自由労働に奔り、工場の能
 率の低下をかまはず不常利得を稼ぐもの、行政機構、各種統制機構、
 或ひは会社などで、その地位を濫用して情實による私慾を肥やすも
 の、名のみのはゆる假裝勞務者として徴用を忌避するものなど、
 國を敗戦に導いても私益を圖るものは、正にその罪、死に値する
 ものである

もちろん私共飛行機生産に携はつてゐるものは、責任を國民に轉
 嫁しようなどとは毛頭考へてゐない。また私共にできることは命を
 賭してもやるが

「飛行機の緊急増産は、上は總理大臣から下は國民
 學校のヨイコまで、一億が死物狂ひで努力してはじ
 めてなすとげられる大仕事であつて、特に國民の協
 力をお願いしたい」

飛行機増産の途は廣くさまざまであるから、一概にいふことはで
 きないが、まづ指導的な立場にある人には「俺は死物狂ひでやるか
 ら皆もしつかり頼むぞ」といふ意氣と、獨りよがりをやめて衆智を
 進んで容れる包擲力を望みたい。また工員諸君には能率の向上と資
 材電力などの節約を希む。かくて上下一致し一熱をもつて努力すれ
 ば、二倍、三倍の能率は上るものである

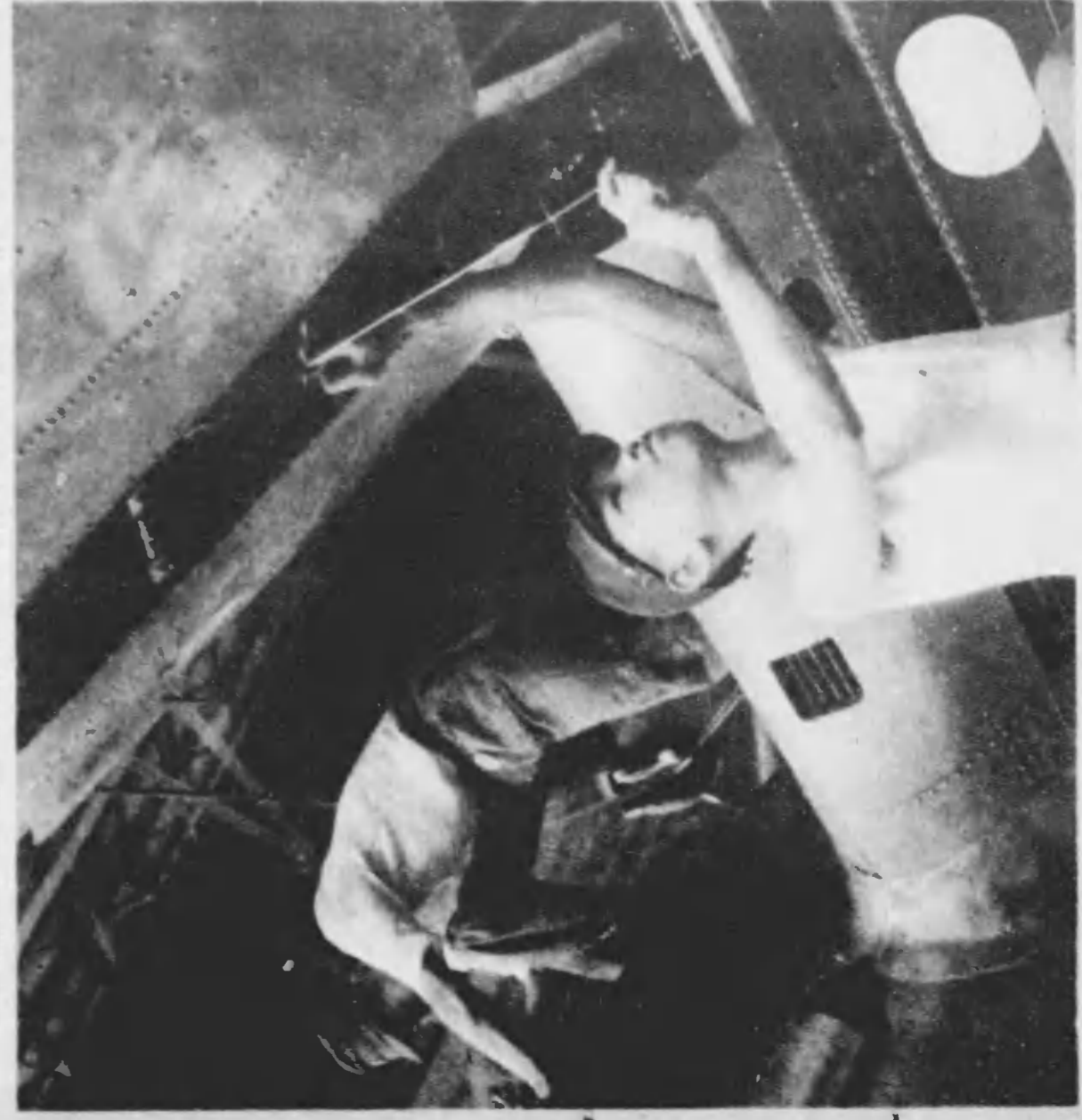
前線の將兵は敵の物量攻勢を質をもつて喰ひ止めて來た。いひか
 へれば、血をもつて闘つて來たのである。多年の訓練を受けた國寶
 ともいふべき優秀な搭乗員が、むさくたゝ数が足りぬために敵の
 未熟なものによつて失はれてゐる。これ以上いまのやうな苦しい戦
 争を將兵にさせてはならぬ。それには、日本人の目に見えない秀れ
 た素質を活かし、飛行機を數多くつくつて送るのだ。前線
 の血にわれらは汗を以て應へよう

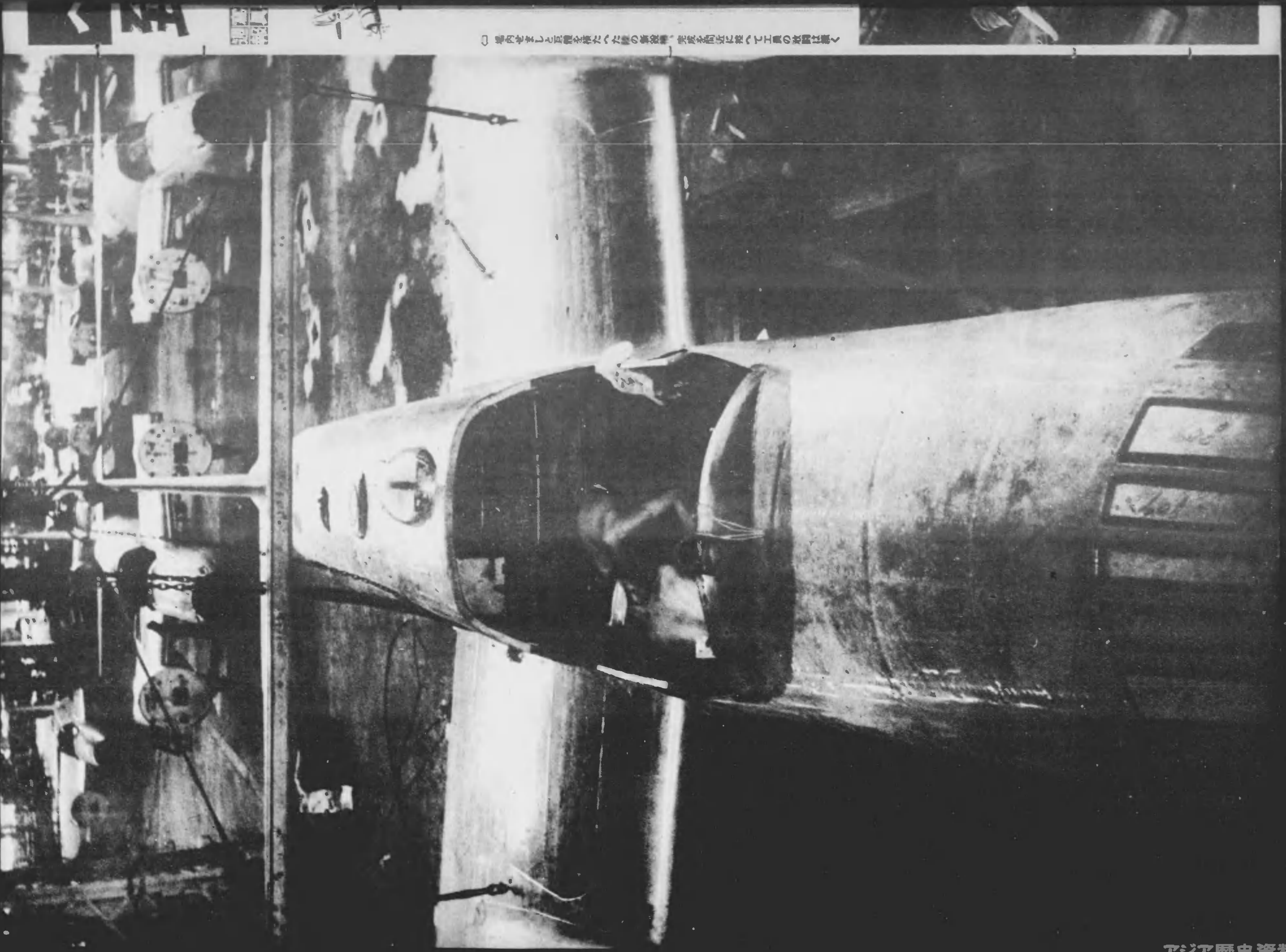
軍需省航空兵器總局總務局長
 海軍中將 大西瀧治郎

◻ 場内せましと巨體を築いた陸の新鋭機、完成を尙近に控へて工員の取組は續く



◻ 眞上一日も早く眞上れと、必死になつて
 聯合社の針を運ぶ女子挺身隊
 ◻ 心底からしほり出した汗が、重要機
 械となつて空翔けるのだ、頑張らう





雪がやましも汽煙を捲いた大煙の無煙機、寒風を吹き返すに於て工員の手間は薄く

意気高し 北の荒鷲

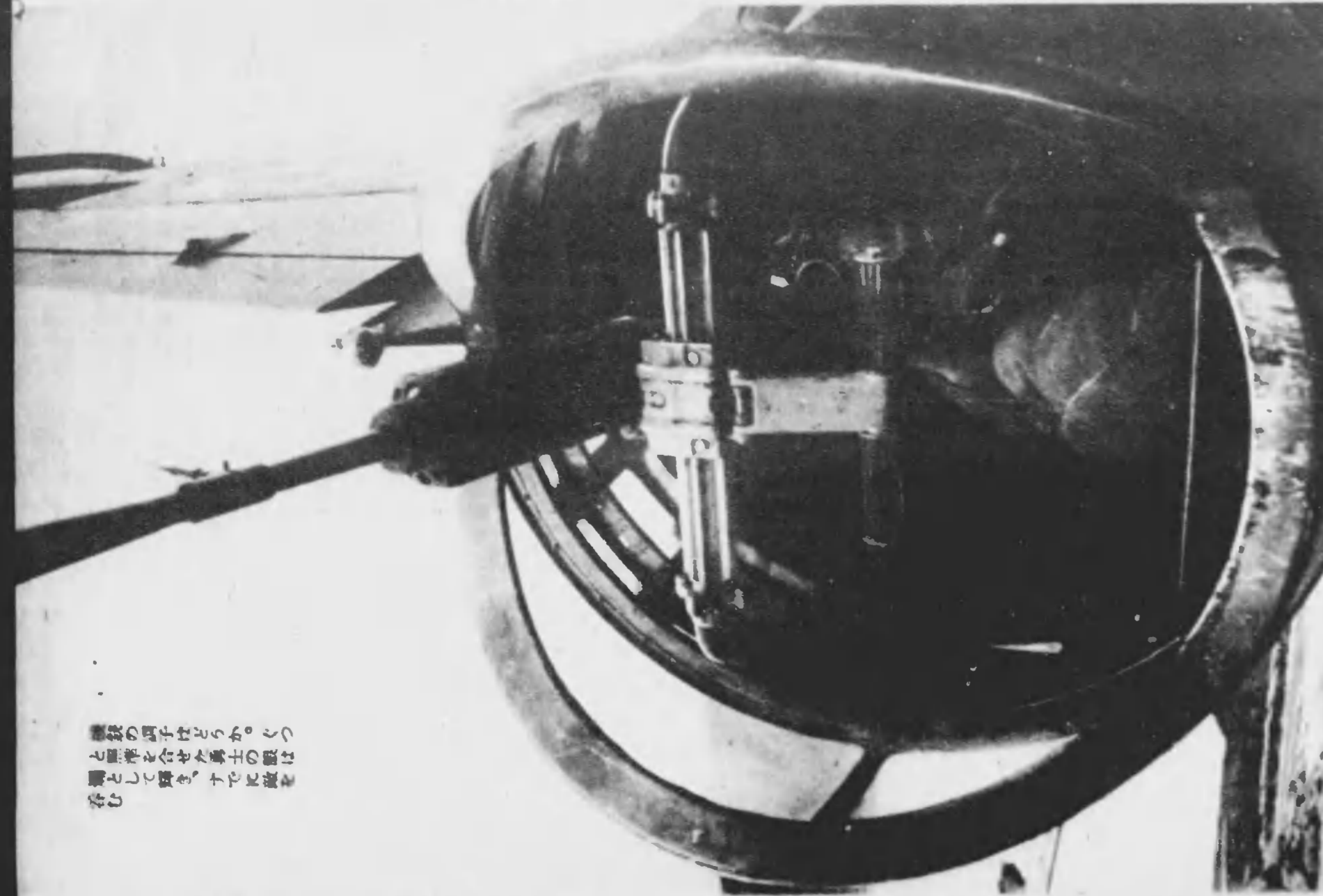


真凍が凍々基地に降りてくる。寒風は来れば、必ず凍死に叩きこんでやうぞ

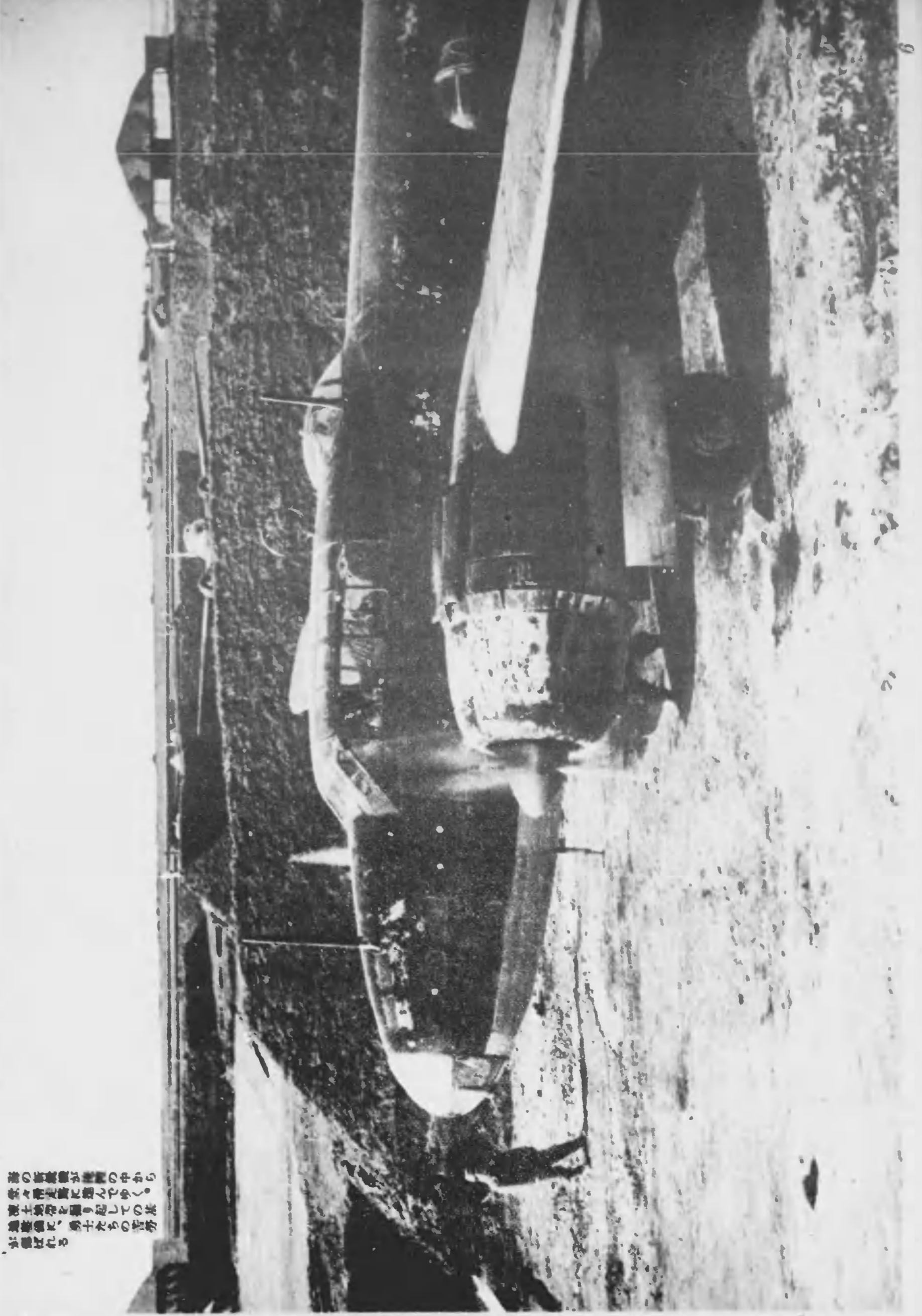
側に来つた敵の全面攻勢は決して解脱してはならない。北方方面に対しても、敵は露骨な攻勢企圖を示してをり、西部アリューシャン地区に対する空軍並びに海上部隊の増強は、その後も引續き行はれてゐる。過般の滿洲方面空襲、十一月の九州、山陰、朝鮮空襲など、またルースヴェルトのアリューシャン訪問などと脱み合せて、この方面に対する敵の暴動は、嚴戒を要する

だが、鷲鷹来らば来れ。こゝ北方基地に在るわが海軍の精銳は、霜を待しつゝ、敵滅の好機を待つてゐる。殘雪を渡り北洋に荒風は霧をふくんで肌を刺し、満目たる霧。この僻地を決戦の場として、荒鷲の意気は天を衝く。精銳よ、健在なれ。われらまた本土に完勝の防空陣を布いてその奮戦に参へよう

撮影 小原海軍報員



機銃の調子はどうか。くつと無事を念はせぬ勇士の眼は、霧として降き、やがて敵を呑む



海軍の野戦機が機庫の中から、次々哨戒隊に誘入されてゆく。東土地帯を廻り廻しての基、機庫に、勇士たちの奮闘が響けられる



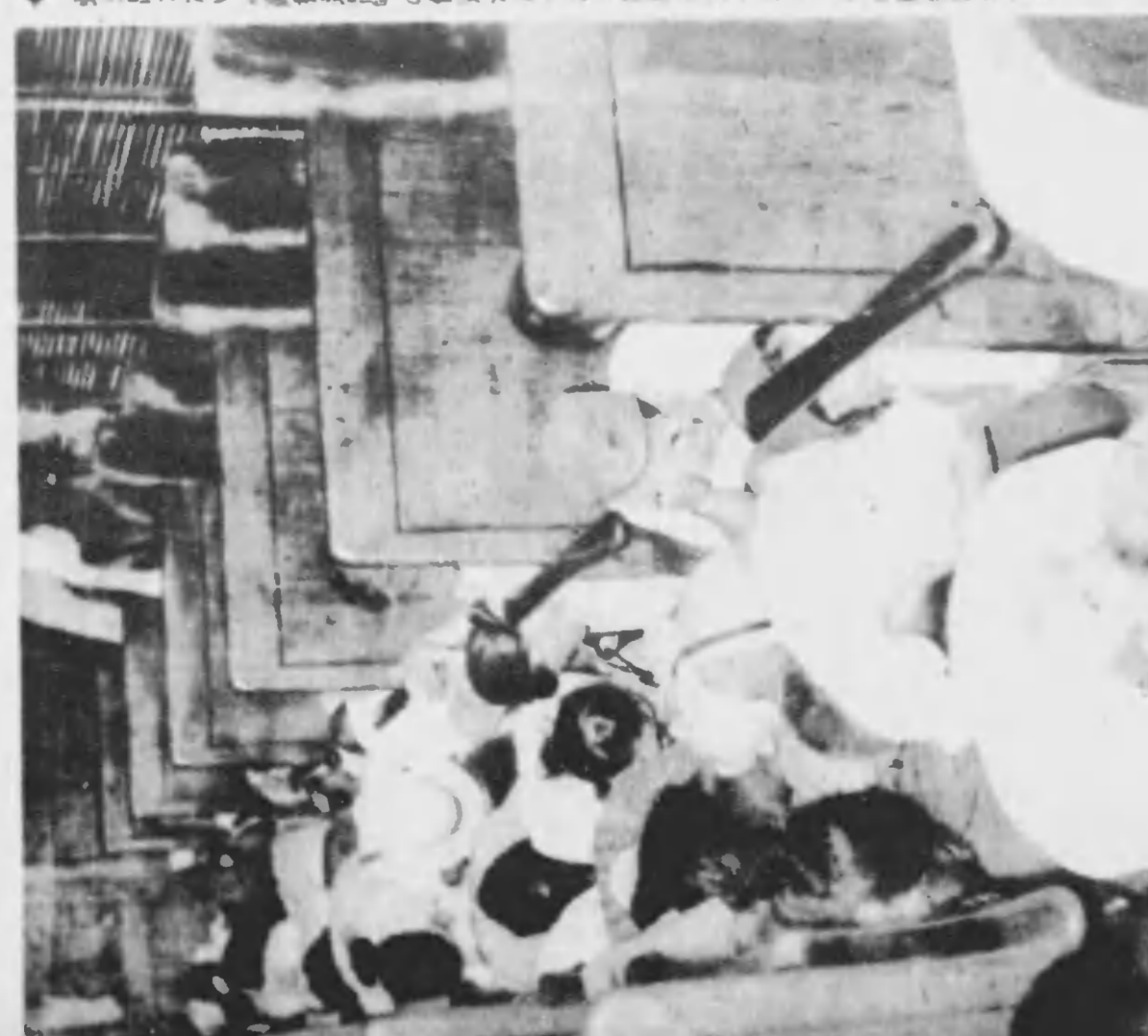
防空は必ず 空襲時の乗車心得

↑ いくとどこ空襲に遭ふか分からないから、旅行するときは必ず防空服装をして、住所、氏名、血液型などをばつつきりかいた氏名簿をつけるほか、非常上水筒や手帳、荷物は手帕紙などで包み、手帳は少くする

列車に乗つてゐるときは警報警報を出たら、車掌が各車ごとに車内に組を作り、列車の終端まで早くやうな人で組長と副組長を一人づつ選ぶ。乗客は白い腕章をつけたこの組長、副組長の指示に従つて、網棚から重い荷物を降ろして逃げたがよい

敵機来襲の危険が迫つたときには、警報警報を出したら、旅行したり、または車掌(或は組長)から降ろす。そのときは網棚から手帳、手帳品で支えながら、通路沿りのところへ立ち、まづ手帳品を降ろす

一時危険をさけるため列車が途中で停つたときでも、車掌(或は組長)が指示するまで車内に待避してゐて、勝手に下車しない。しかし時によつては、車外に分散して行動するやう指示されることもある。敵機が近づいても車掌(組長)の指示に従つて、勝手に動き出さない。敵機退散の傳達があるなら通路を元へ戻し、元の場所にかへる



さらに、一時、腰かけの下におろすか、すべて協力する

空襲警報が出たら、防空服装を整へ、手帳品をとりまよ、貴重品、住所氏名を記したものを身につける

また、列車の窓ガラスは閉けるが、網戸やカーテンは閉めておかないやうに注意する。煙草を吸ふことと懐中電燈を使用することは絶対にしてはならない。暗しくさげきかたたりして、煙草のともとなるやうな行動をすることもまた絶対に禁む

↓ 必ずでは無いとはなるのでせう。今か

いづかかり頭に入れておいて、いざといふ時

に逃げまわらないやうにいたしませう

列車の運行

空襲警報発令のときでも列車は原則として運行されるので、積荷次第によつては運轉を臨時に変更して、途中中間まで打ち切りになりつたり、開引運轉をしたり、受領前の出発、或は細山線を迂回するとか、通過時に停車したり、また停車時を通過することなどがあつたり。また敵機が来襲したときには、全部運轉を止めます。電車なら、乗客の降上り乗客を下して待避させます

さうしたときの待避には、必ず乗務員や保員の指示に従つて、沈着冷静に行動することが大切です

なほ、列車の不通過所や事故などを時に電話で問合せも答へませんが、必要なことは各所に掲示しますから、それで承知して下さい

旅客の取扱

警報警報下ならいつものやうに行はれますが、たい人場券は發給されません

空襲警報が發令されると、特に危険でない限り、旅客の取扱はいつものやうに行はれますが、左のやうな處置がとられます

- 1 特急列車、つまり定期列車、回

乗車券、團體乗車券、貸切乗車券、急行券は發給停止となります(たゞ當日分の急行券と団体券が特に必要と認められたものは除かれる)

□ 割引乗車券(学生割引、移住者割引、武蔵者割引)等は發給停止(但し、公務割引、下士官割引、入船割引、無償者割引等は、軍公務に支障を来す恐れがあるので、發給される)

▲ 一般乗車券は、原則として二等、三等(たけといふやうに)だけになります

二 運送指定は、原則として敵機に直撃をひきかすので、汽船出帆の當日を除き取扱は停止されます

※ 旅客の運賃の増徴は、空襲警報解除後に行はれます。そのときは通用期間が過ぎても拂戻しかできるやう乗車券に證明されます

△ 携帶品の一時預けは受付停止されます

なほ、運賃がもつと迫つてくるときは、一切の乗車券は發給停止されることがあります

旅客の乗車変更

空襲警報を發令されてゐる地域を通らねばならない乗客は、迂回が必要であると認められた場合は、希望によつては他線を迂回してゆくことができます。このときは迂回しただけの運賃は要らず、また迂回して乗車券通用期間が切れるときには、有効な證明がされることになつてゐます

空襲警報發令中の地域にゆく人や、その地域を通過する人が、空襲警報が發令されたため、旅行を中止して、元の發着または途中の駅に戻りたいときは、その旨を申出れば、無償で送りかへされます。このとき途中の駅で下車して再び同じ旅行をするときは、通用期間が経過したらその延期額を出せば、警報發令中の期間に相當するだけ通用期間が延長されます

列車や汽船に乗る人で指定券を持つ人は、空襲警報發令のため、指定の列車や汽船に乗れなかつたときは、その事情明らかならに限り、旅客運賃、急行料金が拂ひ戻されます

小荷物、貨物の取扱

空襲警報發令の間、その地域では引受も引渡しも原則として停止されます。しかし小荷物扱中の旅行用品の引渡しは停止されず、また軍用品、新聞またはこれに類する緊要品は、運送手帳の上で受託されます

敵機が来襲したときは、旅客の取扱のと同じく小荷物や貨物の扱ひも停止されますが、なほ情勢に応じて、これ以外の處置がとられることもあります

